

ピリオド、試合状況ごとの 3ポイントシュート成功数についての研究

1. 背景・目的

バスケットの試合において、3ポイントシュートを打つタイミングは難しい。

⇒ピリオドや試合状況の違いで、
3ポイントシュート成功数や、最終的な勝率に違いが出るのか調べる。

2. 研究方法

スコアブックのデータの場合分けし、それぞれの成績を比較する。

対象試合：2019-2020シーズン、2018-2019シーズン

場合分け：① 2ポイントと、3ポイントシュートの比較
② ピリオド毎の比較
③ 試合状況（得点状況）ごとの比較

3. 結果① 上記3つの場合分けでの傾向

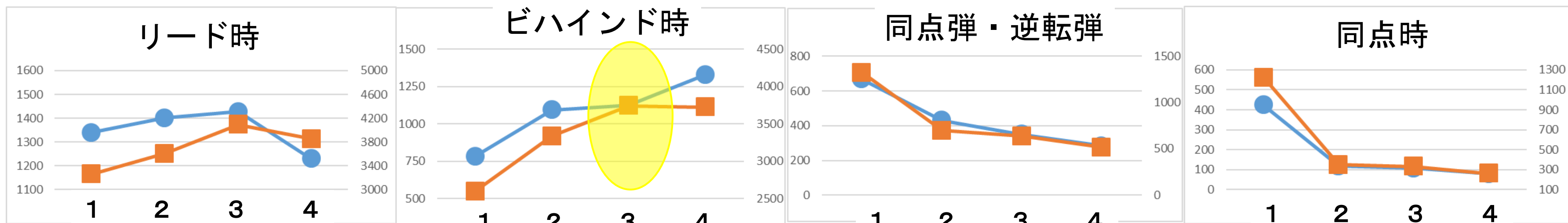
グラフの見方

赤線⇒2ポイント成功数（右軸）

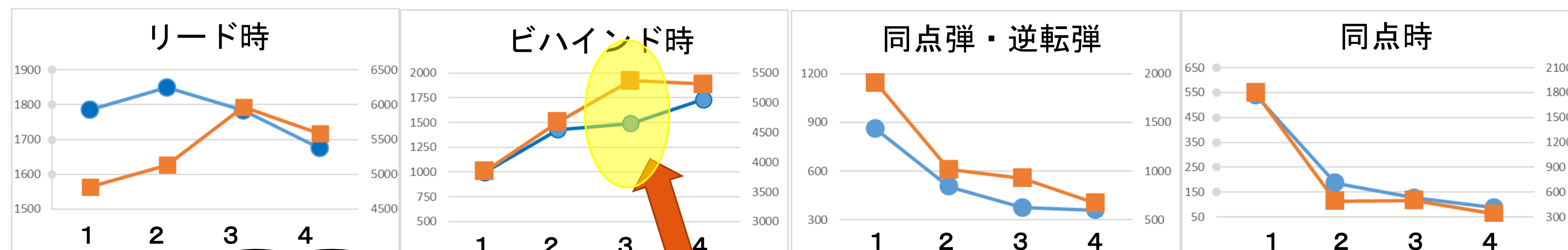
青線⇒3ポイント成功数（左軸）

下軸⇒各ピリオド

2019～2020シーズン



2018～2019シーズン



2ポイントと、3ポイントの傾向は
ほとんど同じだが・・・

私たちは、ビハインド時に注目！！
3ピリオドで3ポイントシュートはあまり打たない??

4. 結果② ビハインド時の傾向と勝率の関連

グラフの見方

赤線⇒2ポイント成功数（右軸）

青線⇒3ポイント成功数（左軸）

下軸⇒各ピリオド

2019～2020シーズン



2ピリオドより、3ピリオドの方が
3ポイントシュートが減っているのは、
僅差で負けている場面。

2019 - 2020 は、36チーム中27チームで同じ傾向
2018 - 2019 は、36チーム中28チームで同じ傾向

●勝率との関連性●

2019 - 2020

僅差で負けている3ピリオドに・・・

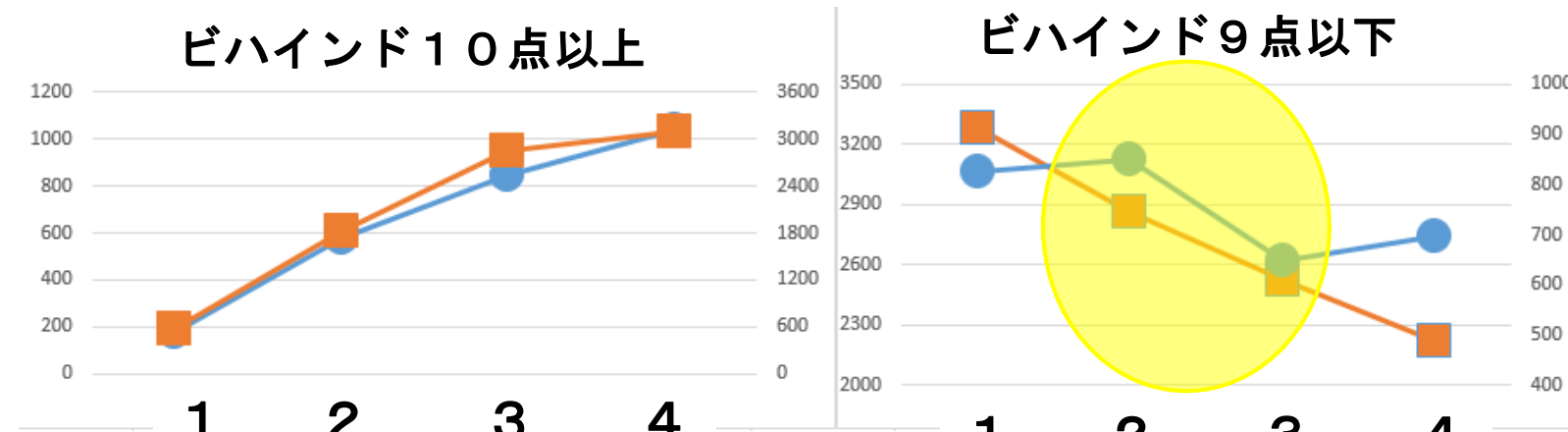
○3ポイントを積極的に打つ
9チーム

●3ポイントをあまり打たない
27チーム

2 5 0 勝 1 5 4 敗
勝率 0. 6 1 9

5 4 0 勝 6 3 6 敗
勝率 0. 4 5 9

2018～2019シーズン



【選手心理】

●バスケ部生徒、及び顧問の意見●

3ピリオドで僅差で負けていると、
安全性・確実性をとり、3ポイントを狙わなくなる。

2018 - 2019

僅差で負けている3ピリオドに・・・

○3ポイントを積極的に打つ
8チーム

●3ポイントをあまり打たない
28チーム

2 3 0 勝 2 5 0 敗
勝率 0. 4 7 9

8 5 0 勝 8 3 0 敗
勝率 0. 5 0 3

僅差で負けている3ピリオドに、
両シーズンとも積極的に3ポイントを打っているチームが1チームあり

そのチームの2年間合計の成績

7 6 勝 2 5 敗 勝率 0. 7 5 2

5. 結論

3ピリオドで僅差だった場合、
積極的に3ポイントを打っていった方が、
2019 - 2020シーズンは全体勝率が高くなっていた。

2シーズンとも積極的に3ポイントを打つチームが1チームあり、
そのチームは0. 7 5 2 と高い勝率になっている。

6. 考察

○3ピリオドでは、守備側も2ポイントを意識する。
その裏を突く・陣形を見る等して、意識的に3ポイントを狙え
ると、攻撃の幅が増えると考え。

○3ポイントの確実性を上げる練習や、打てるタイミングを見つける
練習の必要性を感じた。

謝辞：以下よりデータを提供いただきました。

『情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター』

『公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ』

『データスタジアム 株式会社』